



救急業務デジタル化システム環境構築業務委託

公募型プロポーザル 審査基準

第1 基本的な考え方

優先交渉権者（受託候補者）の特定にあたっては、本業務において最適な事業者を選定するため、提案内容の評価を行う公募型プロポーザル方式を採用し、一次審査及び二次審査の合計評価点（得点）が最も高い提案書を提出した者を優先交渉権者（受託候補者）とする。なお、本プロポーザルにおける審査委員会が審査を実施する。

1 評価点

審査委員は「評価表」に基づき提案内容の評価し、評価点を与える。

2 優先交渉権者（受託候補者）の決定方法

1による評価点が最も高い者を受託候補者とする。

第2 審査方法

1 一次審査

一次審査は審査委員会委員のうち、消防本部審査委員が書類審査を実施するものとし、消防本部審査委員が評価した得点の平均点を一次審査評価点（得点）とする。

2 二次審査

二次審査は審査委員会委員がプレゼンテーションに対し審査を実施するものとし、各委員が評価した得点の平均点を二次審査評価点（得点）とする。

3 優先交渉権者（受託候補者）の選定

一次審査評価点と二次審査評価点の合計評価点（得点）が最も高い者を優先交渉権者（受託候補者）として選定する。なお、参加する企画提案者が1者の場合でも二次審査を実施し、最低基準点（一次審査及び二次審査の合計点が満点の6割）以上の場合は、優先交渉権者として選定する。

4 評価基準

下記評価基準のとおり審査することとする。なお、重要度に応じて係数を設定することとし、下記評価基準のほか併せて業務実績及び提案額を考慮する。

評価基準

評価点	基準
5	非常に優れており、工夫がみられる
4	非常に優れている
3	仕様書どおりの内容である
2	仕様書要件の一部のみ満たしている
1	仕様書要件を満たしていない

5 評価項目

一次審査

評価項目	評価分類
1 実績	1.1 業務実績（様式 04 実績調書）
2 基本方針	2.1 システムの基本方針
3 仕様	3.1 システム全体図 3.2 救急業務支援システム 3.3 消防OA 3.4 在庫管理システム 3.5 システム連携機能 3.6 医療機関との連携 3.7 セキュリティ要件 3.8 調達機器 3.9 規模要件・利用環境 3.10 指令台更新に併せた連携
4 開発実施方法	4.1 プロジェクト管理 4.2 開発手法 4.3 テスト
5 運用保守	5.1 運用保守の業務内容
6 費用	6.1 将来コストも含めた費用逡減方策 6.2 コスト（構築、運用） （様式 11 企画提案見積書）
7 課題解決策	7.1 現場滞在時間の短縮 7.2 病院滞在時間の短縮 7.3 救急報告書の作成時間の短縮 7.4 救急医療資器材管理における負担軽減 7.5 医療機関との円滑な情報共有

二次審査

評価大分類	評価小分類
提案内容	システム概要
	セキュリティ及びバックアップ体制
	医療機関との連携
	救急業務支援システム
	消防 OA
	在庫管理システム
	各課題への解決策
	その他
質疑応答	
プレゼンに対する評価	